

# 水稻育苗箱専用殺虫剤

## リディア<sup>®</sup> 箱粒剤

フルピリミン…………… 2.0%  
鉱物質微粉等…………… 98.0%

農林水産省登録 第 24238 号

毒性 普通物 有効年限 4年 包装 1kg × 12

## ●特 長

1. 殺虫成分「フルピリミン」は、昆虫の神経伝達系に作用し、麻痺を引き起こして殺虫効果を発揮します。既存の殺虫剤とは作用が異なります。
2. 初期害虫、ウンカ類、ニカメイチュウなどに高い殺虫効果を示します。有効成分が速効的かつ持続的に作用し、ウンカ類が媒介するウイルス病の抑止効果も期待できます。
3. ミツバチのほか、クモ、ヤゴなどの多くの有用昆虫や天敵昆虫に対して影響はほとんどありません。

## ●適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルピリミンを含む農業の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネドロオイムシ イネミスゾウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ イナゴ類 フタオビコヤガ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植3日前 ～移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する	3回以内 (移植時までの 処理は1回以内、 本田では2回以内)

(令和2年2月26日現在の登録内容)

## ●効果・薬害等の注意

---

- 育苗箱の苗の上から所定薬量を均一に散布し、茎葉に付着した薬剤は払い落としした後、十分灌水する。
- 軟弱徒長苗、むれ苗などでは薬害を生じるおそれがあるので、必ず健苗に使用する。
- 処理苗移植の本田の整地が不均整な場合は薬害が生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出したりしないように注意する。
- 処理苗を本田に移植したのちは、そのまま湛水状態(湛水深3～5cm)を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意する。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合には使用をさける。
- 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合には使用をさける。
- 容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。